

日本医史学会役員氏名(五十音順)

理事 長	小川 鼎三	大塚 恭男	大塚 恭男
常任理事	高山 坦三	大塚 恭男	大塚 恭男
會計監事	宗田 一	堀江 健也	堀江 健也
理事	石原 力	大滝 紀雄	大塚 恭男
	大鳥蘭三郎	緒方 富雄	小川 鼎三
	蒲原 宏	酒井 シヅ	酒井 恒
	杉田 暉道	鈴木 勝	宗田 一
	中野 操	長門谷洋治	富士川英郎
	藤野恒三郎	古川 明	三木 栄
	矢数 道明	谷津 三雄	矢部 一郎
幹事	山形 敏一		
	蔵方 宏昌	酒井 シヅ	杉田 暉道
	谷津 三雄	矢部 一郎	矢部 一郎
評議員	青木 一郎	青木 允夫	赤堀 昭
	安芸 基雄	今市 正義	岩治 勇一
	内田 醇	江川 義雄	岡田 博
	奥村 武	片桐 一男	川島 恂二
	久志本常孝	蔵方 宏昌	榊原悠紀田郎
	末中 哲夫	杉立 義一	鈴木 正夫
	鈴木 宜民	関根 正雄	瀬戸 俊一
	高木圭二郎	高瀬 武平	高山 坦三
	田代 逸郎	田中 助一	津田 進三

編集後記

私事にわたって恐縮だが、今年は医史学雑誌の編集にたずさわるようになって十五年目に入る。当初の頃は定期刊行物でありながら年に四回発行することを最大の目的としていた。昭和四十三年末の編集後記に「Y・O氏が「年間四回発行という原則をまかりなりにもはたしたことになります」と記す。当時、会員数は二百余名であり、会費の納入率が六〇パーセント以下だったと記憶する。そのため印刷代の捻出に苦勞し、個人的浄財や借金に頼ったのであった。その後、会員数が順調に伸び、いまは

- 簡井 正弘 土屋 重朗 中川 米造
 中沢 修 中西 啓 中山 沃
 服部 敏良 樋口誠太郎 福島 義一
 堀江 健也 本間 邦則 丸山 博
 松木 明知 三浦 豊彦 三輪 卓爾
 室賀 昭三 守屋 正 矢数 圭堂
 山下 喜明 山田 光胤 安井 広
 山中 太木 米田 正治 渡辺左武郎
 (理事の名は省略)
- 名誉会員
 阿知波五郎 赤松 金芳 石川 光昭
 大矢 全節 王丸 勇 佐藤 美実
 杉 靖三郎 三廻 俊一 吉岡 博人

七百名近くなり、納入率もきわめて高い。これは学会誌がいちおうきちんと発行されるからに他ならないと思うが、内容的にはまだ一息というところがある。今回、研究ノートという分野を設けたのは、原著というには少し物足りないものだが、資料とするには著者の見解が多く入ったものを掲載するためである。これからも会員諸氏のいっそうの御協力を期待しつつ、内容を充実するの努めたいという思いを新にした。
 (酒井シヅ)

昭和五十七年一月二十五日 印刷
 昭和五十七年一月三十日 発行
 日本医史学雑誌
 第二十八巻第一号
 編集者代表 大鳥 蘭 三郎
 発行者 日本医史学会
 代表 小川 鼎三
 二二三 東京都文京区本郷 二二一
 順天堂大学医学部
 医史学研究室内
 振替 東京 六一三三三〇番
 印刷所 三報社印刷株式会社
 〒二二五 東京都江東区亀戸